

Writing Skill Chapter 6: 読み直し、育て上げる

1 大切なところだけにせよ

これまでは形式である。ここからは、クオリティを上げることを考える。どうすればクオリティがあげられるかを話し合え。文の見直しにおいて、良い文、悪い文という分類以外にも、必要な文、あっても良い文という分類がある。必要な文、あっても良い文を具体的に互いの文章を見て話し合え。この段階において、不要な文が書かれているのは論外である。

問1 ペアになって、互いの論文の不備を指摘しなさい。論文の不備は、つぎのチェックリストにしたがって、指摘しなさい。14分で互いのあっても良い文・なくても良い文を話し合い、コメントを行う(4分ずつ)。終わったら、新たなペアをつくりなさい。次の14分を実施する。以上をくりかえし、後で、自分の改善点リストを作りなさい。不備の指摘は、感情を害するような言い方は不毛である。それは教員も同じである。

1. jsarticle 標準の書式を用いているか。紙面を広げていないか。
2. 2ページ全面を使って書かれているか。
3. 表記は統一されているか。仮名や漢字に揺れはないか。句読点は付されているか。
4. タイトルに「?」「~」「」などが使われていないか。
5. 「私」「思う」などの私的な表現が使われていないか。
6. BiBTeX を使用して文献の引用はされているか。用いていないと不合格になる。
7. 論文が文献として用いられているか。
8. インターネット上の資料であってもその中の出典が記されているか。
9. 図表の位置、番号、キャプションには、図表を見て、内容がわかる説明がついているか。
10. 表は横線と最小限の縦線(本来は不要)で書かれているか。
11. 図のグラフには縦軸・横軸が明示されているか。
12. 数式には「ただし、 n は個数、 t は時間…」のように変数が説明されているか。
13. 「はじめに」には、リサーチクエスチョンが書かれているか。
14. 「おわりに」には、リサーチクエスチョンに対応する方法が簡単に書かれ、結論が述べられているか。
15. 「おわりに」に、今後の課題や意見が書かれていないか。
16. 「方法」は再現できるように詳細に方法が書かれているか。
17. 「結果」の表記は「図1(あるいは表1)のようになった」だけで終わっていないか。
18. 「考察」に事実(結果)に基づかない付加的な考察は書いてはいけない。
19. 「考察」に関連概念・付加的内容を書いた場合には、文献が引用されているか。
20. 箇条書き禁止。箇条書きは使われていないか。

2 論文からポスターを作成せよ

問2 論文からポスターを作成する方法と、ポスターで最も重要なことを話し合え。

問3 ポスターの作成に際して、論文中の何をポスターに掲載するかを話し合え。

問4 ポスターに使うべき、文体はどうすればよいかを話し合え。

3 ポスターセッション

ポスターセッションの方法: A,B,C の 3 グループ (12 名ずつ) にわかれて 20 分ずつ行う。自分の持ち時間は 20 分であるが、何をどう話すかは議論せよ。A グループが発表しているときは、B,C グループは A グループのポスターを訪問し、意見交換を行い、3 件のポスターについてコメントと質問を作成すること。B グループが発表しているときは、A,C グループが同様に。C グループが発表しているときは、A,B グループが同様に。自分のグループ以外計 6 件のコメントと質問を宿題として提出すること。ポスター発表とコメント・質問の提出のない場合には、評価対象が欠落するので、単位は難しい状況になるので注意すること。テーマそのものについては、担当教員は問題ないと考えている。健闘を祈る。

問 5 ポスターセッションで 1 回あたりに話す時間は何分で話すべきかを話し合え。

問 6 ポスターセッションで話すべき事柄はどんなことを話し合え。

問 7 ポスターセッション中、相手のコメント・質問はどう対処すればよいかを話し合え。

問 8 ポスターセッション後、具体的に何をどう生かすと良いかを話し合え。

4 宿題

問 9 次回は、ポスターセッションを行う。ポスター A3 (あるいは A4 印刷の 2 枚を合成) を作成する。その pdf 版を提出しなさい。pdf 自体は A4 サイズで構わないが、サイズは 1MB 以下であること。締め切りは、7 月 28 日、日曜日の朝 10:00。

問 10 クラスメートの指摘を思い出し、自分の論文の修正すべき、チェックリストを作成し、提出しなさい。QR コードから本日の宿題の質問にも答えよ (本日締め切り厳守)。

宿題提出の URL はこちら

